

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年 8月20日

【会社名】 株式会社アスラポート・ダイニング

【英訳名】 Asrapport Dining Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 檜垣 周作

【本店の所在の場所】 東京都港区高輪二丁目16番29号

【電話番号】 03-6459-3231（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 中村 敏夫

【最寄りの連絡場所】 東京都港区高輪二丁目16番29号

【電話番号】 03-6459-3231（代表）

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 中村 敏夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1 【提出理由】

当社子会社である株式会社弘乳舎は、平成27年8月20日開催の取締役会において、特定子会社の異動を伴う子会社取得を行うことを決定いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号及び第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2 【報告内容】

(企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号に基づく報告内容)

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

名称	株式会社T O M O N I ゆめ牧舎
住所	北海道寿都郡黒松内町西熱郭原野237番地
代表者の氏名	坂田 博
資本金	100百万円
事業の内容	牧場の運営(農業生産法人)

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る特定子会社の議決権の数及び特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

当社の所有に係る議決権の数

異動前	個
異動後	4個

総株主等の議決権に対する割合

異動前	%
異動後	40%

(3) 当該異動の理由及びその年月日

異動の理由 当社の子会社となる株式会社T O M O N I ゆめ牧舎の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、当社の特定子会社に該当することになります。

異動年月日 平成27年8月28日(予定)

(企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2に基づく報告内容)

(4) 取得対象子会社の概要

商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	株式会社T O M O N I ゆめ牧舎
本店の所在地	北海道寿都郡黒松内町西熱郭原野237番地
代表者の氏名	坂田 博
資本金の額	100百万円 (平成27年3月31日現在)
純資産の額	214百万円 (平成27年3月31日現在)
総資産の額	220百万円 (平成27年3月31日現在)
事業の内容	牧場の運営(農業生産法人)

最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

(単位:百万円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
売上高	42	47	49
営業利益	42	27	25
経常利益	36	30	18
当期純利益	37	27	20

提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	該当事項はありません。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。

(5) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、焼肉、居酒屋等の外食フランチャイズを中心に全国で428店舗を展開しておりますが、平成25年度より「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げて外食から生産事業への進出を果たし、多層的な付加価値を生み出すビジネスモデルの構築に取り組んでおります。また、それを実現するための4つの戦略として「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」を掲げ、更なる成長を目指しております。

当社子会社であり、乳製品等の製造・販売を行う株式会社弘乳舎は、上記戦略の「食品生産事業と六次産業化への取り組み」を実践すべく、今般、北海道黒松内町にて牧場を経営する対象子会社の株式の一部を取得し、子会社（当社の孫会社）とすることを決定いたしました。

対象子会社は、25ヘクタールの放牧地と100ヘクタール以上の牧草地を所有し、これらを活用して乳牛の放牧畜産を営む農業生産法人であり、生乳の出荷や仔牛の生産を主な事業内容としております。

一方、熊本県にて操業する株式会社弘乳舎は、主に九州域内で生産される生乳を加工することを事業の柱としておりますので、九州における生乳生産量と密接な関係がございます。昨今、全国的に乳牛の飼育頭数が減少傾向にあり、また、円高による輸入飼料の高騰など、酪農業界にとっては厳しい状況が続いておりますが、九州においても同様の傾向が見受けられます。しかしながら、今般の対象子会社の孫会社化により、対象子会社で生産された仔牛や飼料を九州において利用することが可能となり、九州における酪農業界の発展、ひいては株式会社弘乳舎の発展につながるものと考えております。

また、「北海道」ブランドを構築・活用することで新たな乳製品の生産を目論み、国内に限らず、中華圏をはじめとする海外においても当社グループのブランド力と知名度の向上を目指してまいります。さらには、独自の付加価値のある乳製品の構築により、当社外食事業の競争力とし、競合他社との差別化につなげるというグループシナジーも見込んでおります。

以上のように、九州の酪農業界並びに株式会社弘乳舎と対象子会社とがWin-Winの関係を構築することにより、当社グループ及び酪農業界の発展に寄与できるよう取り組んでまいります。

(6) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式会社TOMONIゆめ牧舎のA種類株式	4万円
株式会社TOMONIゆめ牧舎のB種類株式	109百万円
アドバイザー費用等（概算額）	9百万円
合計（概算額）	119百万円

以 上